



ALBA 新聞～希望の夜明け～

新年あけましておめでとうございます。

厳しい寒さが続きますが、体調を崩さないようお気をつけください。

今年も ALBA 新聞をよろしく願っています。(Y・T)

福袋の歴史について

私たちは普段何気なく福袋を買ったりしていますが、福袋が（いつ）（どこで）（どのようにして）、誕生したか考えたことはありますか？

私は考えたことがありません。ただ友人から誘われ、何気なく買っているだけです。

今回は、どのようにして福袋が誕生したのか、その歴史について私と一緒に学びましょう。

そもそも福袋とは何か？

お正月の初売りで残った商品などを色々詰め合わせて中身が分からないようにして販売し、自由に選び取ることでできる袋のことです。運試しということもあり、子供から大人までの幅広い世代に人気です。福袋の仕組みを知るだけでも、ワクワクしますね。

ではそろそろ本題に入っていきます。福袋の由来について学びましょう。

福袋は、大黒天（七福神）が抱えている大きな袋が由来だそうです。

そもそも私は大黒天（だいこくてん）についてあまり分かっていないので少し学びましょう。

大黒天は金運や幸運をつかさどる神様だそうです、商家では商売繁盛の神で、農家では五穀豊穡の神として祭られているそうです。

右手に打ち出の小槌を持ち、米俵の上に乗った姿で、左手で大きな『袋』を抱えています、その抱えている袋こそが本日のメインである「福袋」なのです。

私は今この記事を書いているときに知りました。

No.56 2025/1

ALBA 新聞は利用者が作成しています。



皆さんお待ちかねの福袋の歴史について学びましょう。

実際に福袋がいつから始まったのかは正確にはわかっていないそうです。

江戸時代（1603年～1868年）に呉服屋の越後屋（三越の前身）が「えびす袋」として販売したことが福袋のきっかけだといわれているそうです。

その後、越後屋は「えびす袋」に残りの布などを入れた結果、江戸で大人気になり、それが私たちの生きているこの時代まで「福袋」という名前に代わってなお大人気のままあり続けているのです。数々の色んな歴史がある中で「福袋」は今の時代にも続いている大人気な行事なのだと私は思いました。以上で「福袋の歴史」についての新聞を終了させていただきます。

今回、私は全く無知なままこの記事を書いていたので、「福袋」についての歴史・誕生の由来について初めて学べたので、書いていてとても楽しかったです。これからも、どんどん知らないこと学んでいきたいと思いました。(T・Y)



正月の風物詩として何気なく食べているおせち料理

それぞれ縁起のいい食べ物が詰め込まれていることは知っていても、詳しい由来

をご存じない方も多いのではないでしょうか？

そこで今回いくつかご紹介させていただきます。



黒豆

日に焼けて黒くなるほどまめまめしく働けるようにと健康長寿を願ったもの。



数の子

数の子は卵の数が多いことから、子孫繁栄を願ったもの。



伊達巻・昆布巻き

巻物に似た形状から学問成就を願ったもの。



栗きんとん

元々勝ち栗として縁起の良い食べ物であった栗を金塊や小判に見立てて金運に恵まれるよう願ったもの。



鰯の焼き物

出世魚の鰯にあやかって立身出世を願ったもの。

蓮根を使った料理

蓮根の穴から先を見るように将来の見通しがきくようにと願ったもの。

手綱こんにゃく

結び目のような形状から良縁に恵まれますようにと願ったもの。

など、ほかにも様々な由来や縁起を願って食べられるおせち料理。

食べながら調べてみるのも楽しいかもしれませんね。

(O・M)

新年にチャレンジしたい事

- ★資格を取る
- ★聖地巡礼
- ★旅行
- ★イベントに行く
- ★府外（大阪府の外）に出かけたい
- ★AIを使ってみたい
- ★長編小説を最後まで読む
- ★美容に力を入れる。まつパ（まつ毛パーマ）とか髪質改善
- ★編み物をする
- ★ちいかわのもぐもぐ本舗に行く（京都）
- ★脱毛に行く



以上新年にチャレンジしたい事アンケートでした。

感想：色んな事にチャレンジする事は良い事ですね。ちなみに私は、ちいかわのもぐもぐ本舗に行きたいです。(K・A)



LINE



Instagram



ALBA_REACHFOR

X 旧 Twitter



note (ブログ)



facebook

